田川市立病院 VOL.21 春号/2018

ニュースレター

― 基本理念 ―

市民のため　市民とともに　全職員力を合わせ
田川の医療を守る　質の高い　市立病院を　創造します
“地方の医療創生は田川から”

病院事業管理者再任のご挨拶

田川市病院事業管理者
田川市参与
齋藤　貴生

この度、二場公人田川市長のご要請を受け、病院事業管理者を引き続き務めさせていただくことになりました。

平成22年度以来３期目の職務となりますが、これまでどおり、日本をリードする地域中核病院を目指し、田川市立病院の発展のため微力を尽くす所存ですので、今後とも皆様のご指導･ご鞭撻いただきますようよろしくお願い申し上げます。幸い、田川地域の住民や医療関係者等の皆様、田川市の議員や市長・職員の皆様のご理解とご支援、そして田川市立病院職員の努力により、平成20～21年度に経営破綻に陥っていた当院は、平成28年度に病院再生を成就することができました。

第３期目からは、田川市立病院の再生を確かなものにするとともに、田川地域の住民の皆様が求められている保健・医療・福祉のニーズに医療機関としてお応えすることを中心に据え、ホリスティック・マーケティング手法を導入して、田川地域における医療環境の向上、医療の完結化を進めてまいります。また、医療制度改革に対しては、地域医療構想、地域包括ケアシステム構築、在宅医療等に、公立の地域中核病院の立場で適正に対応する所存です。

病院長就任のご挨拶

病院長
松隈　哲人

本年４月に病院長に就任しました松隈です。私はこれまで齋藤病院事業管理者、鴻江前病院長のもとで外科部長として２年、副院長として２年勤務させていただきました。

現在、高齢化社会に対応するために国が進めてきた地域包括ケアシステムが運用され始めています。方針としては病院から在宅へという流れであり、病院ではなく自宅や介護施設など住み慣れた地域で、老後を安心して送れる体制づくりが進められています。当院でも２年前に急性期病棟と在宅療養の間を繋ぐための地域包括ケア病棟を開設し、また、訪問看護などを通じてできるだけ安心して自宅で過ごせるように取り組んでいます。

一方、住民のみなさんに求められているのが自助、互助という考えです。自助とは簡単に言えば自分の健康は自分で守りましょうということであり、互助とは｢お互いさま｣の気持ちで自治会やボランティアなどを通じて地域の人とのつながり・助け合いを活かしましょうということです。病気になったら病院にかかればいいというのではなく、まずは自分の健康に当事者意識を持って病気にならないように心がけることが求められています。さらに、診療だけでなく日常の健康相談や病気の予防のために、かかりつけ医を持つことが勧められています。

今後、地域の中核病院は質の高い医療を提供するために外来診療よりも入院診療に重点を置き、病状の安定した慢性期の患者さんの通院治療はかかりつけ医にお願いすることで病院と診療所の機能分化を図ることが求められます。そのためには地域の医療体制の維持・発展のためにみなさんのご理解・ご協力をお願いいたします。

病院機能評価認定

～病院の質向上への取組の成果をかたちに～

当院は、日本医療機能評価機構による病院機能評価（書面審査及び訪問審査）を受審し、病院の質が一定の水準を満たしていると認定されました。

病院機能評価とは

日本国民が安全で安心な医療を受けられるよう、病院組織全体の運営管理および提供される医療について日本医療機能評価機構という中立的、科学的・専門的な第三者機関が病院を評価する審査制度です。

病院の組織的活動について優れている点あるいは課題を明らかにすることで病院の質（診療・経営・患者サービスの質）改善活動を支援します。審査の結果、一定の水準を満たしていると認められた病院に対して認定証が発行されます。

当院は、平成16年までは認定病院でしたが、10年以上、病院機能評価受審から遠ざかっていました。平成28年に病院の再生を果たし、病院機能評価をあらためて受審することを決め、１年以上かけて準備しました。あらゆる病院活動を見直し、各部署において多職種のスタッフが話し合い、協力し、一つひとつ問題を解決しました。医療安全対策、すなわち医療事故の防止方法の改良などは病院機能の重要な課題として取り組みました。また、相談窓口の充実、待ち時間短縮のへ努力、わかりやすい案内表示、より快適な療養環境の整備などを行いました。療養環境の整備として、平成29年７月から駐車場を含む病院敷地内を完全禁煙とし、禁煙外来治療も始めました。

病院の質向上に全職員一丸となって取り組んだ結果、病院機能評価で認められ、職員の励みにもなりました。

今後もさらなる質向上への取組を続けます。

子どもの背が低い悩み

小児科 部長
尾上　泰弘

今回は、子どもの「成長」についてお話しします。生まれてからの１年間に大きく身長・体重が増え、その後はマイペースに増加し、思春期の第二次性徴期でグッと増加し成人と同じ体格となります。身長はご両親の遺伝も大きく影響しますが、様々な病気で身長の伸びが少ない低身長となることがあります。低身長が目立つ場合は子どもが学校に通うようになると予想以上のコンプレックスになることがあり、治療可能な場合は早めの相談がお勧めです。

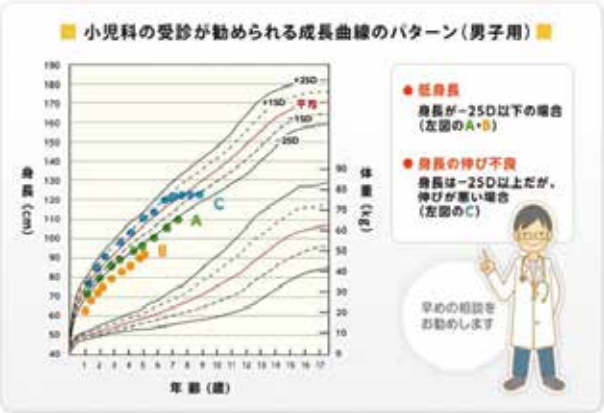
身長が低い場合には様々な原因があります。代表的な原因は次のとおりです。

①成長ホルモンの不足　②甲状腺ホルモンの不足
③低栄養　④染色体異常　⑤子宮内発育遅延（SGA）
⑥骨や軟骨の病気　⑦心臓・肝臓・腎臓など臓器の異常
⑧愛情不足やストレス

これらの原因の中で成長ホルモンの治療で成長が期待できるのは①④⑤などです。治療費用は高額ですが国の医療費助成を受け、実質的にはほぼ無料で治療を受けることができます。治療のためには成長ホルモンの分泌不全を証明する検査が必要です。当科では平成29年から成長ホルモン分泌刺激試験を３泊４日入院で開始しました。

低身長の心配がある場合は、まずはお子さんの母子手帳の後のページにある発育曲線をご覧ください。色のついた94パーセンタイル値より身長が低い場合（子ども100人中、身長が小さい順に３人目に相当）は原因検査がお勧めです。パソコンやスマホで子どもの低身長についての解説を見ることも役立ちます。

低身長については、まずはかかりつけの先生に相談され、精密検査が必要な場合は紹介状をお持ちになって受診されることをお勧めします。当院小児科外来は月～土曜日の午前中に受付けています。



▲出典：一般社団法人 日本小児内分泌学会

地域医療連携

地域の医療機関のご紹介

医療法人 向野医院

住 田川郡川崎町川崎24－2 ☎0947－72－5610

[院　長] 向野 守人 先生

[診療科] 内科・リハビリテーション科

向野医院は、内科・リハビリテーション科を標榜する無床診療所で、介護保険における通所リハビリテーション（老人デイケア）施設を併設しています。診察は、総合診療的な内容になりますが、日本東洋医学会の漢方専門医認定証を受け、西洋薬と共に漢方薬処方による診察も行っています。なお、在宅医療支援診療所として、月・火・水・金・土曜日の午後から在宅訪問診療を実施しており、訪問看護ステーションと連携し24時間体制をとっています。

平成30年５月からは、１週間に１回（毎週水曜日）呼吸器専門医来院による診療を実施する予定です。

その他、一般健康診断（特定健診を含む）、インフルエンザや肺炎球菌ワクチン他の予防接種、健康相談等も実施しています。来院患者様の診療にあたっては、地域のかかりつけ医として懇切丁寧を旨とし、誠意をもって対応させていただいています。

[診療時間]

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
[午前] 8:30～12:30	●	●	●	●	●	●	木曜・土曜は 12:30まで
[午後] 13:30～17:30	●	●	●	／	●	／	

医療法人 正久会 荒木小児科医院

住 田川郡川崎町田原1021 ☎0947－73－2131

[院　長] 荒木 久昭 先生

[診療科] 内科・小児科

荒木小児科医院は、昭和 35年に開院してから58年経過しています。診療は小児科一般、特に小児の腎臓病・喘息を専門としています。

乳児健診、夜尿症の相談・治療も行っています。内科は感冒・喘息・高血圧・糖尿病・痛風など悪性疾患以外を診療しています。予防注射は、小児の定期予防接種全て、インフルエンザワクチン、成人の肺炎ワクチンを予約制で、毎日受け付けて実施しています。

[院長のご紹介] 荒木 久昭 先生

現在田川医師会会長、田川看護高等専修学校校長

小児科専門医・医学博士

地域総合小児医療認定医、福岡県医師会認定総合医

[診療時間]

診療時間	月	火	水	木	金	土	備考
[午前] 9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	土曜は 12:30まで
[午後] 14:00～17:30	●	●	●	●	●	／	

（駐車場:25台駐車可）

■田川市立病院 外来診療担当医

■外来診療受付時間 8:30～11:00　■休診日 日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

平成30年4月1日現在

診療科		月	火	水	木	金	土
循環器内科	新患	–	永田 泰史(産業医科大学)	–	浅田 哲史(非常勤)	井上 航之祐(産業医科大学)	新患のみ 総合診療科医師(非常勤) 鴻江 俊治 もしくは 河村 康司 または 内科当番医
	再来	–	松島 将士(九州大学)	船越 公太(九州大学) 瀬戸山 航史(産業医科大学)	細川 和也(九州大学) 樫山 国宣(産業医科大学)	–	
消化器内科	新患	田中 利幸	平塚 裕晃(福岡大学筑紫病院)	山崎 一朋	–	小野 貴大	
	再来	–	田中 利幸	小野 貴大	山崎 一朋	–	
腎臓内科	新患	大仲 正太郎	–	吉田 健	辻川 浩明(九州大学)	末永 達也	
	再来	末永 達也	大仲 正太郎	–	–	吉田 健	
糖尿病内分泌内科	新患	–	–	–	南 陽平	–	
	再来	池田 陽介(九州大学)	井上 智彰(九州大学)	妊娠糖尿病外来 南 陽平(第1－3) 井林 雄太(九州大学) 名誉院長 池田 喜彦(第4のみ)	–	南 陽平	糖尿病外来(第1・3・5) 予約のみ 藤井 雅一(九州大学)
脳血管内科	新患 再来	–	–	芝原 友也(九州大学)	–	–	
呼吸器内科	新患(要予約) 再来	–	田中 謙太郎(九州大学)	–	–	–	
肝臓内科	新患 再来	肝臓 稲田 浩気(九州大学)	肝臓 徳松 誠(九州大学) 胆膵 伊原 諒(福岡大学筑紫病院)	–	–	–	
神経内科	新患(要予約) 再来	–	–	田中 栄蔵(九州大学)	–	–	
内科	新患 再来	–	–	–	–	中園 和利(産業医科大学)	
小児科	新患 再来	尾上 泰弘	倉田 浩昭	今井 崇史	倉田 浩昭	尾上 泰弘	当番医
	再来	循環器外来(第4午後) 濱本 邦洋(非常勤)	腎臓外来(第4午後) 今井 崇史	血液・免疫・ワクチン外来(第1午後) 大賀 正一(九州大学) 血液・免疫・ワクチン外来(第2－5午後) 落合 正行(九州大学)	–	神経外来(第1午後) 非常勤医師(九州大学)	神経外来(第3午前) 非常勤医師(九州大学)
外科	新患	松隈 哲人	丸山 晴司	丸山 晴司	松隈 哲人	田中 健祐	当番医
	再来	吉田 大輔	丸山 晴司	田中 健祐	吉田 大輔 血管外科外来(第2・4) 非常勤医師(九州大学)	松隈 哲人	休診
呼吸器外科	新患 再来	–	非常勤医師(九州大学)	–	–	–	休診
整形外科	新患 再来	久枝 啓史 新井 貴之 遠矢 政和(九州大学)	久枝 啓史 石橋 正二郎 中村 良	石橋 正二郎 新井 貴之	久枝 啓史 新井 貴之 北出 一季(九州大学)	久枝 啓史 石橋 正二郎 中村 良	当番医
	再来	–	名誉副院長 張 瑞棠	–	名誉副院長 張 瑞棠	名誉副院長 張 瑞棠	–
形成外科	新患 再来	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏	柳澤 明宏	休診
皮膚科	新患 再来	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子	分山 英子	休診
泌尿器科	新患	足立 知大郎	石田 浩三	石田 浩三	足立 知大郎	足立 知大郎	当番医
	再来	石田 浩三	足立 知大郎			石田 浩三	
産婦人科	産科(妊婦検診)	–	藤田 拓司	安武 伸子	椎名 隆次	結城 光太郎	休診
	婦人科 新患	結城 光太郎	安武 伸子	椎名 隆次	藤田 拓司 結城 光太郎	安武 伸子	
	婦人科 再来	藤田 拓司	椎名 隆次	結城 光太郎	安武 伸子	藤田 拓司	
眼科	新患 再来	永戸 天	永戸 天 塩瀬 聡美(九州大学)	永戸 天 海津 嘉弘(九州大学)	永戸 天	永戸 天	休診
耳鼻咽喉科	新患 再来	非常勤医師(福岡大学)	(午後) 非常勤医師(産業医科大学)	–	非常勤医師(福岡大学)	–	非常勤医師(産業医科大学)
総合診療科	新患 再来	坂中 博昭(福岡大学)	–	–	–	–	–
麻酔科	新患(要予約)	–	–	–	–	–	–
	再来	疼痛 小山 稔(非常勤)	–	–	–	–	
歯科・歯科口腔外科	新患 再来	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	天野 裕治 藤田 弥千	当番医

新患 新しく受診される患者さん　再来 当院を受診され、予約をしている患者さん

小児科夜間診療時間(受付時間):平日の18:00～21:30
耳鼻咽喉科 午後受付時間:火曜日の13:30～15:30

ACCESS

JR+平成筑豊鉄道

JR田川後藤寺駅→JR田川伊田駅
平成筑豊鉄道田川伊田駅
→田川市立病院駅
※田川市立病院駅からは無料の連絡バスが出ています。

西鉄バス

後藤寺(金田平原団地行き)
→田川市立病院

田川市コミュニティバス

[路線①]坂谷・田川病院線 ※後藤寺②へ乗り換え
[路線②]大浦・弓削田線
[路線③]伊加利・松原線
[路線④]鎮西・金川線
[路線⑤]施設循環線 ※伊田駅前で③または④へ乗り換え
[路線⑥]白鳥工業団地線 ※伊田駅前で③または④へ乗り換え

田川市立病院
〒825-8567 福岡県田川市大字糒1700番地2 / ホームページアドレス http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp/
TEL 0947-44-2100 / FAX 0947-45-0715 / 企画・発行 田川市 病院局